第２期　座間味村人口ビジョン・総合戦略【概要版】

2021 年度―2025 年度

さ：「座間味村ならでは」の個性を活かした取り組みで地域の活力を増大

ま：「また訪れたい」「ここで頑張りたい」と思えるむらづくりを進め、賑わいを将来に渡って続けていく

み：みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

2021（令和３）年３月

座間味村

地方創生　～まち・ひと・しごと創生の実現に向けて～

まち・ひと・しごと創生総合戦略策定の背景と趣旨

わが国では、急速に進む人口減少に歯止めをかけ、将来にわたって活力ある社会を築いていくため、国・地方を挙げた「地方創生」の取組が進められています。

こうした中、座間味村では、2016 年（平成 28 年）3 月に、地方創生に向けて、本村が総力を挙げて取り組む上での指針となる「座間味村むら・ひと・しごと総合戦略」を策定し、このたび、「第 2 期座間味村人口ビジョン・総合戦略」を策定するに当たり、必要な見直しを行い、改訂版を策定しました。

村民の皆様に対して目指すべき将来の方向や人口の将来展望をお示しすることにより、本村の将来の問題について認識を共有し、村が一体となって地方創生に向けた取り組みを進めていきたいと考えています。

人口ビジョン・総合戦略（まち・ひと・しごと創生総合戦略）とは？

人口急減・超高齢化という我が国が直面する大きな課題に対し、政府一体となって取り組み、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会を創生することを目指します。

人口減少を克服し、将来にわたって成長力を確保し、「活力ある日本社会」を維持するため、

「稼ぐ地域をつくるとともに、安心して働けるようにする」
「地方とのつながりを築き、地方への新しいひとの流れをつくる」
「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」
「ひとが集う、安心して暮らすことができる魅力的な地域をつくる」

という４つの基本目標と

「多様な人材の活躍を推進する」
「新しい時代の流れを力にする」

という２つの横断的な目標に向けた政策を進めています。

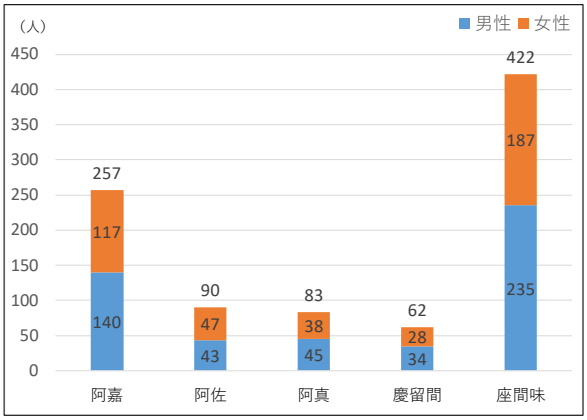
「人口ビジョン」及び「総合戦略」について

座間味村の人口と将来の姿を示し、今後目指すべき将来の方向を提示する第 2 期「座間味村人口ビジョン」及び、これを実現するため、今後 5 カ年の目標や施策を提示する第 2 期「座間味村総合戦略」を取りまとめました。

住民基本台帳による人口

本村の住民基本台帳（2020 年 1 月 1 日現在）による人口は、914 人となっており、男女別にみると、男性が 497 人、女性が 417 人と男性が多くなっています。

本村には 5 つの字があり、座間味が最も多く 422 人と村内の全人口の 46.2%を占めています。次いで、阿嘉 257 人、阿佐 90 人、阿真 83 人、慶留間 62 人となっています。

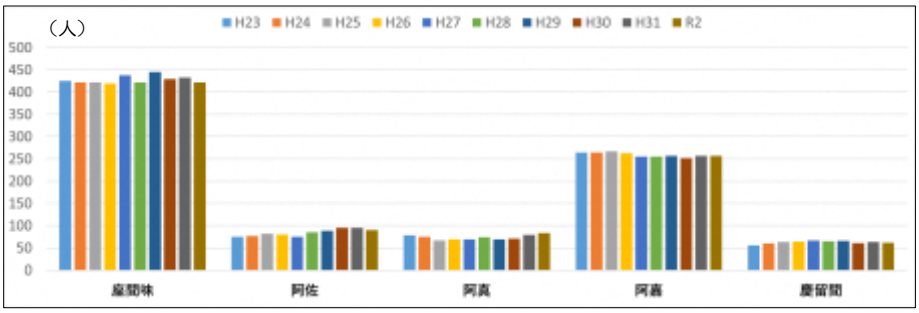


資料：住民基本台帳

図：住民基本台帳による字別人口(2020 年 1 月 1 日現在)

字別の人口推移

過去 10 年にわたる各字の人口の推移をみると、全体的に増減を繰り返しながらほぼ、横ばいとなっています。



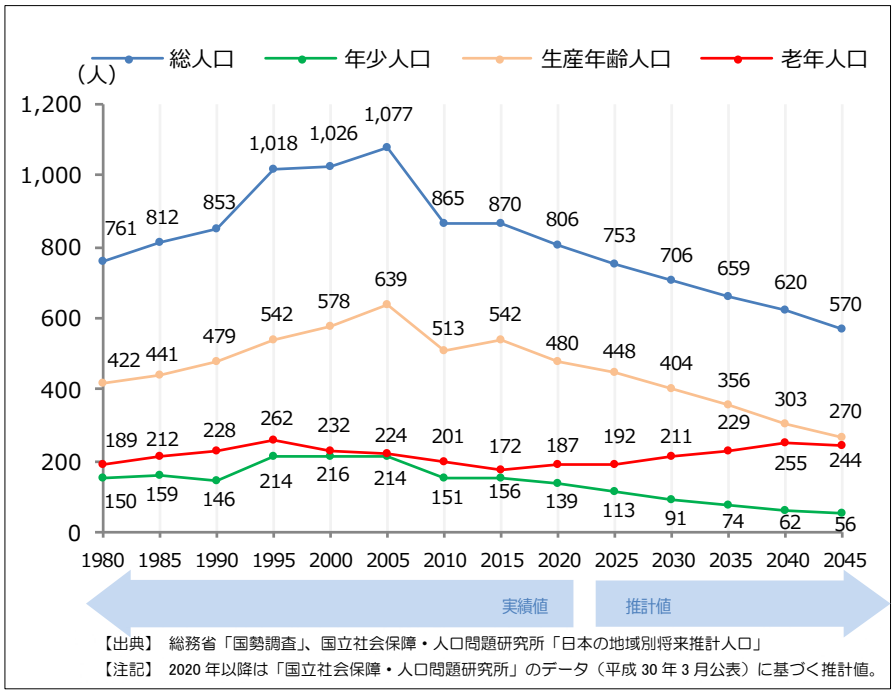
図：過去 10 年の字別人口の推移

資料：住民基本台帳

人口推移と将来推計

国勢調査による本村の人口推移をみると 1980 年の 761 人から 2005 年には 1,077 人まで増加しましたが、2010 年以降は減少傾向にあります。

国立社会保障・人口問題研究所の推計では、現状のままで行くと 2045 年までに、総人口は 570 人に減少すると推計されています。



図：国勢調査人口と将来推計

資料：地域経済分析システム（RESAS（リーサス））

座間味村の人口目標と将来展望

第 2 期人口ビジョンの目標

本村の人口は、第 1 期人口ビジョンの目標としていた 800 人の人口規模について、ほぼ展望通りの人口規模となっています。

長期的な人口目標であるため、第 2 期においても、第 1 期の目標を引き継ぎ、800 人規模の人口目標を掲げます。

＜本村の人口の将来展望＞
2060 年まで、総人口 800 人超の水準を維持する

これからの座間味村をつくり担う若い世代を主なターゲットとして、
座間味村の魅力を広めることで、**関係人口の増大・I ターン移住者増加による社会増を実現**する

子育て環境の整備、雇用の創出・安定化等を通じて、
「I ターン・U ターン移住による社会増」の強みを取り戻すとともに、定住増を実現する

村民の離島での結婚・出産・子育ての不安を解消し、
出産・子育ての希望をかなえることで、出生数の減少を抑制・回復させる

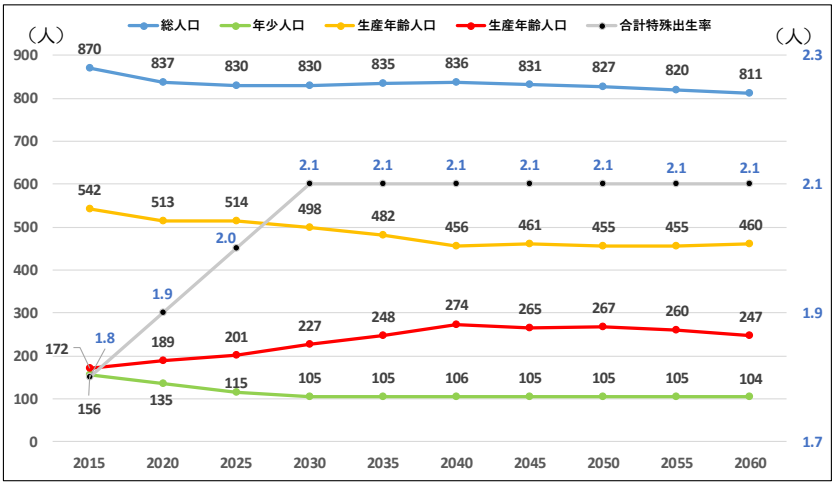
老後の島での生活の不安を解消し、
村内で希望をもって安心・安全に老後を過ごせる環境づくりを行い、転出人口を減少させる

目標達成に向けた人口構造

2060 年まで、総人口 800 人超の水準を維持するために、目標人口達成に向けた人口像の村独自推計を行いました。

将来的に減少する生産年齢人口を維持するために、生産年齢人口の移住定住の促進と子育て支援を重点的に行ってまいります。

また、高齢化が進む本村において、老後も安心安全に住み続けられる環境づくりを行い、高齢者の人口流出対策を行います。



図：目標達成に向けた人口構造

第 2 期　座間味村総合戦略

本村の人口の展望である「2060 年まで、総人口 800 人超の水準を維持する」を実現するために、今後 5 年間で実施する施策を「第 2 期　座間味村総合戦略」として策定しました。

「座間味村らしさ」を活かした視点　～座間味村 21 世紀三島物語～

平成 20（2008）年のリーマンショック以来、座間味村の年間観光客数は 6 万人台まで減少しましたが、平成 26（2014）年 3 月の国立公園指定をきっかけに再び観光客数は増加に転じ、平成 27（2015）年は台風の影響を受けながらも、統計開始後初めて年間 10 万人を達成しました。

しかし、新型コロナウイルスの拡大により、世界的な観光需要は急激に落ち込んでおり、これから数年は観光客の減少が続くと見込まれます。また、with コロナ時代を見据えた観光の在り方の検討も求められます。

このような中においても、座間味村の魅力が失われたわけではありません。観光産業はこれからも座間味村を発展させていく上での軸になり続けていくと考えられます。しかしその一方で、以前から指摘されているように夏場にだけ観光客が集中する「季節重労働」といった点、離島観光ならではの「天候・景気の影響を受けやすい」といった点、観光客の減少に村の人口が負の影響を受ける点から、村の産業・雇用が安定しにくいという課題も抱えています。

本村は「一村三島」であり、各島で島民性もインフラ・公共施設の状況もそれぞれに異なります。このため「安定した雇用（しごと）」と「本村への新しい人の流れづくり（ひと）」、またこれらを好循環に乗せるための「まちづくり」において、島それぞれに適した施策等を講じる必要があります。

① 座間味島を中心に村全域で・・・　法人誘客

冬場も来島する新たな交流ターゲットを創出するため、「企業」を新たな顧客に、研修やスモール MICE、新型コロナウイルス感染症によるワーケーションなど働き方の変化、ビジネスツアー等に対応した旅行商品を企画します。ストレス社会で生きる人々の人間力回復、人間関係再生の場、with コロナの時代の新しいライフスタイルへの提案として、離島村である本村が機能することで、わが国企業人のメンタルヘルス増進と企業の安定的成長に寄与します。

② 阿嘉島・・・　サンゴをキーワードとした環境保全の取り組み強化とその後の展開

自然環境を守ることは、阿嘉島はもとより座間味村の衰退にもかかわる重要なものと考えます。

健全で豊かな自然環境の保全に取り組むとともに、観光資源や環境教育、企業 CSR への活用を図るために、サンゴ保全作業の体験等をコンセプトにしたプログラムの開発、プロモーション等を環境省やダイビング協会、観光協会と連携して行います。

また、種苗センターを活用した新たな産業の創出等も視野に入れ、取り組みを行ってまいります。

③ 慶留間島・・・　留学制度の定着・発展

集落存続と定住人口増加のため、現在行われている留学制度を支援し、優秀な小中学生を受け入れ、大自然に抱かれた学習環境の中で 21 世紀を担うたくましい人材を育て地域の活性化を図ります。

総合戦略の各施策の方向性と各施策の内容

基本的目標に基づく各施策の方向性及び内容を以下に示します。

さ：「座間味村ならでは」の個性を活かした取り組みで地域の活力を増大

【基本的方向】

○　座間味村にかかわりのある方との関係性を強化し、関係人口の増大を図る。 ○　座間味村の個性や文化を理解・尊重する移住者を増加・定住させるため、座間味村特有の取組みや魅力を発信するとともに、受入体制を強化する。 ○　多世代交流を通じて村民の結束力を強め、定住を促進する。

【各施策の内容】

1. U・I ターン移住の増加、定住の促進

(1) 留学制度や「座間味村アイランダーズネットワーク」などを通じた村の魅力発信

施策の内容
○　座間味村の地域特性や文化を充分に理解し尊重できる関係人口を増やし、更には I ターン移住者を増やしていくため、「慶留間島留学制度」や座間味村がこれまで培ってきた「座間味村アイランダーズネットワーク」などの取り組みを、引き続き地域・行政で支え発展させていきます。 ○　また、上記の取り組みとあわせて、移住希望者向けの情報発信についても、村民・地域と連携して積極的に取り組み、U ターン、I ターンを実現していきます。
主な事業
○ 村・島の魅力発信事業 ○ 慶留間島留学制度支援事業

(2) 座間味村へ移住する人の医療や住居などの「くらし」の支援

施策の内容
○　若年層の U ターン・I ターン移住者数を回復・増大させるとともに、座間味村に移り住んだ方を将来に渡って定着させるために、移住者の暮らしに直結する医療や居住環境などの生活環境に対する支援などを行います。 ○　また上記の取り組みについて、実際の移住・定住者増加につなげるため、“移住希望者にとっての座間味村の魅力”として効果的に村外へ発信していきます。
主な事業
○　Uターン向け医療学費給付事業 ○　U・Ｉターン向け住宅取得支援事業

(3) ICT の整備・利活用などを通じた、新たな働き方の実現

施策の内容
○ 新型コロナウイルスの影響により拡大したワーケーション需要や働き方の変化に対する本村の取り組みとして、移住者の裾野をさらに広げていくため、座間味村の持つ豊富な自然等の資源と光ブロードバンド環境を組み合わせたワークスペースの確保などに取り組みます。
主な事業
○ コワーキングスペース整備事業

(4) ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達の強化

施策の内容
○ ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度を活用し、資金調達の強化と座間味村のむらづくりを応援する関係人口の増加に取り組みます。
主な事業
○ ふるさと納税の返礼品開拓 ○ 企業版ふるさと納税の強化

2. 地域コミュニティの強化

(1) 元気なシニア世代が活躍できる仕組み・場を地域に創出

施策の内容
○ 元気なシニア世代が村内で継続して活躍できる仕組みづくりや、シニア世代がもつ知恵やスキル、活力を次の世代のために活用できる仕組みづくりを進めます。
主な事業
○ シニア世代活躍推進事業 ○ 高齢者福祉の充実

(2) 世代を越えた村民交流による、村民のつながり強化

施策の内容
○ 災害への備えや、平穏な島の暮らしを脅かす事柄から地域を守るためにも、村民のつながりを強化し、地域コミュニティを維持・強化していくことで、生活の質の向上、安全・安心な暮らし、幅広い世代の定住促進をはかります。
主な事業
○ 三島村民交流事業 ○ 多世代コミュニケーションスペース整備事業

ま：「また訪れたい」「ここで頑張りたい」と思えるむらづくりを進め、賑わいを将来に渡って続けていく

【基本的方向】

○ 主要産業である観光を官民一体となって強化するとともに、座間味村の人材・自然・文化等を活かして「新たな価値」を提供することで、通年の観光需要と宿泊率の向上、雇用の創出・安定化を図る。 ○ 地域産業の販路拡大等を支援するとともに、若い世代への継承・人材育成を通じて産業を活性化させる。

【各施策の内容】

1. 観光振興による村の活性化

(1) 観光振興に向けた受入体制の強化

施策の内容
○ 観光庁の「日本版DMO形成・確立に係る手引き」においても、地域の多様な関係者が連携し、地域に息づく暮らし、自然、歴史、文化等に係る地域の幅広い資源の最大限の活用と「稼ぐ力」を引き出す明確なコンセプトづくりが重要視されています。 ○ 本村は、座間味村観光協会が日本版 DMO 候補として観光庁に登録されています。今後は観光地域づくりの中心的役割を果たすべく組織の強化と、観光客の受入環境の整備・拡充をはかっていきます。
主な事業
○ 座間味村版DMOの機能強化 ○ 受入環境の整備・拡充事業 ○ 新型コロナウイルス対策支援事業 ○ 世界的な新型コロナウイルスの状況に合わせた誘客事業の展開

(2) 通年での観光需要の拡大に向けた、座間味村観光の「新たな価値」の創出

施策の内容
○ 夏場に観光客が集中する季節偏重という課題を解消し、年間を通した誘客を実現し、安定した雇用を創出するため、座間味村観光の”次の一手”を創出します。
主な事業
○ 法人誘客による交流人口拡大に向けての調査事業 ○ サンゴ保全・海浜環境保全事業 ○ 世界的なトップアスリートを育てるスポーツキャンプ誘致事業 ○ 修学旅行受入促進事業

2. 地域を支える様々な産業と人材の育成・展開

(1) 地域に根ざす産業の維持・活性化

施策の内容
○ 観光地としての本村の魅力をさらに向上させるには、農水産業の振興が不可欠であり、従事者の支援や観光との連携強化をはかっていくとともに、新たな領域での産業振興も進めていきます。
主な事業
○ 農水産業活性化事業 ○ 農水観連携事業 ○ 農業基盤強化事業 ○ 創業支援事業

(2) 若い世代への継承・人材育成

施策の内容
○ 村の未来を担う若い世代や子どもたちは本村の宝であり、そのための人材育成を村一丸となって推進します。
主な事業
○ 次世代人材育成事業 ○ 平和未来プロジェクト ○ 外国人指導助手（ALT）配置事業 ○ 嬬恋村交流事業 ○ 地域国際交流事業

�み：みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育ての希望をかなえる

【基本的方向】

○ 「繁忙期である夏季を中心とした保育ニーズ」など、座間味村ならではの希望に沿った子育て環境をむら一体で整備し、座間味村を子育ての場に選んでもらう。

【各施策の内容】

1. 子育て環境の整備・支援

(1) 島の子育て環境の整備

施策の内容
○ 村民の結婚・出産・子育ての希望をかなえるため、子育て環境や各種支援制度をより一層充実させます。
主な事業
○ 保育事業の充実 ○ 妊婦健診助成事業 ○ 出産祝い金事業 ○ 幼稚園入園料・保育料助成事業 ○ 離島高校生支援事業 ○ スポーツ大会派遣事業 ○ 通院等支援事業 ○ 沖縄県と連携した未来技術を活用した医療環境整備の検討

(2) 外部連携による活性化

施策の内容
○ 村内部のリソースのみならず、外部人材との連携・交流を積極的におこなうことで、教育環境や子育て環境の活性化をはかります。
主な事業
○ 小中学校教育活性化事業 ○ 大学連携による保育インターン受入事業

(3) ICT を活用した先進的な学校教育の推進

施策の内容
○ Society 5.0 時代を生きるこれからの子供たちの学習環境を整備し、ICT を活用した先進的な学校教育に取り組みます。
主な事業
○ 国と連携した GIGA スクール構想の実現

村の基本目標		村の基本的方向	施策体系
ざ	「座間味村ならでは」の個性を活かした取り組みで地域の活力を増大	●座間味村にかかわりのある方との関係性を強化し、関係人口の増大を図る。 ●座間味村の個性や文化を理解・尊重する移住者を増加・定住させるため、座間味村特有の取組みや魅力を発信するとともに、受入体制を強化する。 ●多世代交流を通じて村民の結束力を強め、定住を促進する。	**1. U・I ターンの増加、定住の促進** ●留学制度支援や「座間味村アイランダーズネットワーク」などを通じた村の魅力発信 ●座間味村へ移住する人の医療や住居などの「くらし」の支援 ●ICT の整備・利活用などを通じた、新たな働き方の実現 ●ふるさと納税や企業版ふるさと納税制度の活用による資金調達の強化 **2. 地域コミュニティの強化** ●元気なシニア世代が活躍できる仕組み・場の創出 ●世代を越えた村民交流による、村民のつながり強化
ま	「また訪れたい」「ここで頑張りたい」と思えるむらづくりを進め、賑わいを将来に渡って続けていく	●主要産業である観光を公民一体となって強化するとともに、座間味村の自然・文化等を活かして「新たな価値」を提供することで、通年の観光需要と雇用の創出・安定化を図る。 ●地域産業の販路拡大等を支援するとともに、若い世代への継承・人材育成を通じて産業を活性化させる。	**1. 観光振興による村の活性化** ●観光振興に向けた受入体制の強化 ●通年での観光需要の拡大に向けた、座間味村観光の「新たな価値」の創出 **2. 地域を支える様々な産業と人材の育成・展開** ●地域に根ざす産業の維持・活性化 ●若い世代への継承・人材育成
み	みんなで子育てを支え、若い世代の出産・子育ての希望をかなえる	●「繁忙期である夏季を中心とした保育ニーズ」など、座間味村ならではの希望に沿った子育て環境をむら一体で整備し、座間味村を子育ての場に選んでもらう。	**1. 子育て環境の整備・支援** ●島の子育て環境の整備 ●外部連携による活性化 ●ICT を活用した先進的な学校教育の推進

第２期座間味村人口ビジョン・総合戦略（概要版）

座間味村
OKINAWA ZAMAMI VILLAGE. JAPAN

〒901-3496
沖縄県　座間味村座間味 109　座間味村役場
TEL：098-987-2311（代）